



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンリオ

コード番号 8136 URL <http://www.sanrio.co.jp/corporate/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 信太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長

(氏名) 江森 進

TEL 03-3779-8058

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	16,356	△7.4	3,968	15.2	3,866	43.1	2,865	129.5
23年3月期第1四半期	17,668	11.0	3,443	219.4	2,701	214.2	1,248	82.2

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 3,953百万円 (594.9%) 23年3月期第1四半期 568百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	32.09	31.41
23年3月期第1四半期	13.00	12.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	85,916	31,178	36.2
23年3月期	83,666	29,195	34.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 31,137百万円 23年3月期 29,158百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	15.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,300	△7.5	6,800	8.0	6,400	21.3	4,400	55.0	49.79
通期	73,200	△4.5	16,500	10.0	15,600	16.5	11,900	26.9	134.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	89,065,301 株	23年3月期	89,065,301 株
24年3月期1Q	694,118 株	23年3月期	565,793 株
24年3月期1Q	88,480,544 株	23年3月期1Q	87,300,875 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況
普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
B種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	— —	225.50	— —	225.50	451.00
24年3月期	— —				
24年3月期(予想)		0.00	— —	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における世界経済は、中東情勢や欧州の財政問題、新興国のインフレ阻止に向けた金融引き締め等に加え、日本経済においては3月11日に発生しました東日本大震災の影響により国内消費は抑制されましたが、世界景気は不安定な見通しの中、多少の混乱が生じましたが総じてしつかりした状況でありました。

このような状況の中、当第1四半期の売上高は163億円（前年同期比7.4%減）となりました。うち国内の売上高は101億円（同9.9%減）、海外売上高は欧州地域における物販事業からライセンス事業へのシフトに伴う物販売上上の減少及び円高の影響により62億円（同3.1%減）となり海外売上高比率は前年同期比1.7ポイント上がりましたが38.2%に止まりました。営業利益は堅調な国内外のライセンス事業や経費削減効果により39億円（同15.2%増）となりました。

経常利益は、海外ロイヤリティの外国税額（源泉税）が増加しましたが、前年同期に計上した海外子会社からの売掛金回収などに伴う為替差損がなくなったことにより38億円（同43.1%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は、特別損失として株価下落に伴う投資有価証券評価損が発生しましたが、前年同期に計上した賃借店舗等やテーマパークの借地に係る資産除去債務などの計上がなくなったことから36億円（同69.3%増）となり、四半期純利益は28億円（同129.5%増）となりました。

なお、すべての海外の連結子会社は12月決算であり、当第1四半期の対象期間は、2011年1月～3月であります。

〔報告セグメント〕

(単位：億円)

		売上高				セグメント利益（営業利益）			
		前第1 四半期	当第1 四半期	増減	増減率	前第1 四半期	当第1 四半期	増減	増減率
日本	物販その他	99	85	△13	△14.0%	21	28	6	28.6%
	ロイヤリティ	17	20	3	17.7%				
	計	116	105	△10	△9.3%				
欧州	物販その他	10	4	△5	△53.9%	12	9	△2	△18.3%
	ロイヤリティ	23	24	0	2.4%				
	計	34	29	△5	△14.8%				
北米	物販その他	3	2	△0	△10.5%	2	3	0	29.5%
	ロイヤリティ	7	9	1	20.9%				
	計	11	12	1	11.7%				
南米 (ブラジル)	物販その他	0	0	△0	△21.9%	0	△0	△0	—
	ロイヤリティ	2	1	△0	△12.7%				
	計	2	2	△0	△13.7%				
アジア	物販その他	8	8	0	2.3%	1	2	0	36.0%
	ロイヤリティ	3	5	1	41.7%				
	計	11	13	1	15.4%				
調整額		—	—	—	—	△4	△3	0	—
連結	物販その他	121	101	△19	△16.3%	34	39	5	15.2%
	ロイヤリティ	55	61	6	12.1%				
	計	176	163	△13	△7.4%				

① 日本：売上高105億円（前年同期比9.3%減）、営業利益28億円（同28.6%増）

国内外のライセンスが堅調だったことが増益に寄与いたしました。海外子会社からのマスターライセンス収入は円高の影響を受けつつも増収を維持し、さらに国内ライセンス事業も震災による厳しい環境にもかかわらず前期に引き続き前年同期比増収で推移いたしました。しかしながら、国内物販が震災の影響を受けたこともあり、減収となりました。震災は一般消費者の消費意欲の減退をもたらしたのみならず、原発問題にも波及し海外ツーリストの大幅な減少にまで発展したことが大きく影響をいたしました。なお、当社国内の既存店の売上高（直営店及び百貨店の当社直営ショップベース）は前年同期比89.4%でした。

キャラクターや商品面においては、『ハローキティ』を中心にしたライセンス事業が国内外で貢

献しました。また、『ジュエルペット』に加え『マイメロディ』『リトルツインスターズ』等、それ以外のキャラクターも戦略的に展開し、大幅に伸びましたが、物販全体の落ち込みを補うまでには至りませんでした。

テーマパーク事業は、震災の影響による海外ツーリストの大幅な減少が影響して、売上高は10億円（前年同期比6.7%減）となり、営業損失は1.9億円とほぼ前年並みになりました。さらに当社の個人株主の減少による株主優待による集客が減少し、経費削減を実施しつつも売上減もあり前年並みの営業損失となりました。サンリオピューロランドの入場者数は144千人（前年同期比13千人減）、ハーモニーランドの入場者数は76千人（同3千人増）となりました。

その他事業では、ロボット製作事業は大幅増収を確保、利益面でも黒字転換いたしました。

② 欧州：売上高29億円（前年同期比14.8%減）、営業利益9億円（同18.3%減）

欧州地域においては、インフレ懸念下での金利上昇と高失業率という厳しい消費環境にもかかわらず、ライセンス事業は現地通貨ベースで前年同期比14.1%増の水準で好調に推移しましたが、大幅な円高のため、円貨ベースでは、伸び率が若干の伸びにとどまりました。しかしながら、物販事業は戦略的にライセンスにシフトする方針のもとライセンス取引に切り替えていることと、前期の10～12月期のクリスマス商戦後の在庫調整、円高の影響も重なり大幅な減収となりました。減益の要因は、物販の売上減と円高による影響であります。

③ 北米：売上高12億円（前年同期比11.7%増）、営業利益3億円（同29.5%増）

前期までにおいて、欧州同様に物販事業からライセンス事業へのシフトを目指してライセンシーの見直し、新規ライセンシーの開拓を進めたことからライセンス事業が大幅に拡大したことにより増収となりました。既存のライセンシーも確実に成長しており、特に化粧品や幼児向けアパレル関連のライセンスが大幅に伸びました。現地通貨ベースにおいて、ライセンスは30%以上の伸びを達成、ユーロ同様に米ドルも前年同期比10%近い円高となりましたが増収増益となりました。物販事業については、現地通貨ベースで6.5%の減収となりました。

④ 南米：売上高2億円（前年同期比13.7%減）、営業損失0.0億円（同0.5億円減）

ブラジルにおいて代理店による不採算店を撤退したことから物販事業が20%程度の減収となり、ライセンス事業においてもそれまで主力ライセンシーの靴メーカーとのライセンス契約の更新までの端境期となったため減収となりました。営業損失の要因は売上高の減少と円高によるものであります。

⑤ アジア：売上高13億円（前年同期比15.4%増）、営業利益2億円（同36.0%増）

アジアにおいては、中国が、引き続き大手大人衣料とのライセンスが堅調に推移し、加えて新規のライセンシーも上乘せされ増収増益となり、アジア地域の利益を押し上げました。また、韓国においては、現地合弁企業によるライセンスが順調に推移し増収増益となりました。香港では、ライセンスは大幅に伸びましたが、欧州向けの製造輸出が大幅に減少し、減収減益となりました。台湾では、コンビニ向けのプロモーションイベントや文房具関連のライセンスが伸び、経費も減少して黒字を確保しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は859億円で前連結会計年度末比22億円増加いたしました。資産の部の主な増加項目は現金及び預金の41億円です。主な減少項目は、受取手形及び売掛金16億円です。負債の部は547億円で2億円増加いたしました。主な増加項目は社債20億円、賞与引当金2億円です。主な減少項目は、支払手形及び買掛金の14億円、長期借入金5億円、未払法人税等の2億円です。純資産の部は、主に四半期純利益による28億円、為替換算調整勘定のマイナス額の減少による9億円の増加と、配当金の支払による13億円、自己株式の取得5億円等による減少により、311億円と19億円増加いたしました。自己資本比率は36.2%と前連結会計年度末比1.4ポイント増加いたしました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日付で前回公表いたしました時点において、東日本大震災の影響による国内の物販、ライセンス、テーマパークの各事業への影響を慎重に予想しましたが、第1四半期の業績は本日発表の通り当初の予想を上回ることができました。この状況を鑑み、第2四半期累計期間及び通期の業績予想について見直しをしましたところ、売上高は想定為替レートより円高となることが予想されますが、欧州・米州など海外ライセンス収入の増加、国内ライセンス収入も前年並みを維持できることが想定されるため、本日付け開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、以下のように修正いたします。

平成24年3月期第2四半期連結累計期間予想数値の修正（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成23年5月13日発表）	32,754	5,184	4,609	3,280	36.46
今回修正予想（B）	33,300	6,800	6,400	4,400	49.79
増減額（B－A）	546	1,616	1,791	1,120	－
増減率（％）	1.7	31.2	38.9	34.1	－
ご参考：前期実績 （平成23年3月期第2四半期）	35,991	6,294	5,278	2,838	31.07

平成24年3月期通期連結予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A） （平成23年5月13日発表）	73,826	15,157	14,079	10,730	120.03
今回修正予想（B）	73,200	16,500	15,600	11,900	134.66
増減額（B－A）	△626	1,343	1,521	1,170	－
増減率（％）	△0.8	8.9	10.8	10.9	－
ご参考：前期実績 （平成23年3月期通期）	76,625	14,996	13,387	9,380	104.76

(参考)

海外地域別損益～第1四半期の3期推移

(単位：百万円)

		外部顧客に対する売上高					営業利益				
地域		H21/6	H22/6	増減率 (%)	H23/6	増減率 (%)	H21/6	H22/6	増減率 (%)	H23/6	増減率 (%)
北米	米国	1,167	1,125	△ 3.6	1,257	11.7	204	237	15.7	306	29.5
南米	ブラジル	148	234	57.8	202	△13.7	41	51	23.0	△0	—
アジア	香港	709	915	29.1	911	△0.4	79	127	60.6	118	△7.3
	台湾	142	170	20.1	196	15.2	△ 15	8	—	16	110.2
	韓国	29	29	△ 0.9	56	92.8	5	4	△ 26.9	16	283.6
	中国	63	81	28.7	216	165.5	4	22	437.1	69	205.6
小計		944	1,197	26.8	1,381	15.4	74	162	118.0	221	36.0
欧州	欧州	2,304	3,450	49.7	2,939	△14.8	673	1,217	80.8	994	△18.3
合計		4,564	6,007	31.6	5,780	△3.8	995	1,669	67.7	1,522	△8.8

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,132	25,330
受取手形及び売掛金	10,411	8,793
商品及び製品	3,415	3,281
仕掛品	20	33
原材料及び貯蔵品	212	338
その他	5,107	4,986
貸倒引当金	△454	△413
流動資産合計	39,845	42,350
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,178	7,160
土地	10,815	10,847
その他（純額）	1,167	1,154
有形固定資産合計	19,161	19,162
無形固定資産	338	333
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,931	5,766
その他	19,514	19,315
貸倒引当金	△1,221	△1,150
投資その他の資産合計	24,224	23,932
固定資産合計	43,724	43,428
繰延資産	96	136
資産合計	83,666	85,916
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,566	5,146
短期借入金	18,034	18,010
未払法人税等	1,000	737
賞与引当金	370	653
返品調整引当金	62	54
その他	8,722	9,191
流動負債合計	34,755	33,794
固定負債		
社債	5,184	7,184
長期借入金	5,324	4,748
退職給付引当金	6,779	6,662
役員退職慰労引当金	429	434
債務保証損失引当金	199	188
その他	1,798	1,725
固定負債合計	19,715	20,942
負債合計	54,471	54,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	6,147	6,147
利益剰余金	20,953	22,437
自己株式	△637	△1,225
株主資本合計	36,463	37,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△973	△879
繰延ヘッジ損益	△21	△19
為替換算調整勘定	△6,310	△5,323
その他の包括利益累計額合計	△7,305	△6,221
少数株主持分	36	41
純資産合計	29,195	31,178
負債純資産合計	83,666	85,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	17,668	16,356
売上原価	6,935	5,629
売上総利益	10,733	10,727
返品調整引当金戻入額	33	8
差引売上総利益	10,766	10,735
販売費及び一般管理費	7,322	6,766
営業利益	3,443	3,968
営業外収益		
受取利息	71	74
貸倒引当金戻入額	—	138
その他	49	99
営業外収益合計	120	311
営業外費用		
支払利息	147	129
租税公課	139	169
為替差損	448	—
その他	126	115
営業外費用合計	862	414
経常利益	2,701	3,866
特別利益		
貸倒引当金戻入額	117	—
債務保証損失引当金戻入額	—	10
その他	0	5
特別利益合計	117	16
特別損失		
投資有価証券評価損	159	190
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	426	—
その他	62	18
特別損失合計	648	208
税金等調整前四半期純利益	2,170	3,673
法人税、住民税及び事業税	526	498
法人税等調整額	391	305
法人税等合計	918	804
少数株主損益調整前四半期純利益	1,251	2,869
少数株主利益	3	3
四半期純利益	1,248	2,865

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,251	2,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△506	94
繰延ヘッジ損益	25	1
為替換算調整勘定	△201	987
その他の包括利益合計	△682	1,084
四半期包括利益	568	3,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565	3,949
少数株主に係る四半期包括利益	3	4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	北米	南米	アジア	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,661	3,450	1,125	234	1,197	17,668	—	17,668
（うちロイヤリティ売上高）	(1,716)	(2,393)	(796)	(208)	(396)	(5,511)	(—)	(5,511)
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,151	12	124	—	348	2,636	△2,636	—
（うちロイヤリティ売上高）	(2,088)	(12)	(13)	(—)	(37)	(2,152)	(△2,152)	(—)
計	13,813	3,463	1,249	234	1,545	20,305	△2,636	17,668
セグメント利益	2,192	1,217	237	51	162	3,861	△418	3,443

- (注) 1. セグメント利益の調整額 418百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能営業費用であり、配賦不能営業費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごと固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、19百万円であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	北米	南米	アジア	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,576	2,939	1,257	202	1,381	16,356	—	16,356
（うちロイヤリティ売上高）	(2,019)	(2,451)	(963)	(182)	(561)	(6,178)	(—)	(6,178)
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,371	0	76	0	81	2,529	△2,529	—
（うちロイヤリティ売上高）	(2,355)	(0)	(0)	(0)	(0)	(2,355)	(△2,355)	(—)
計	12,947	2,939	1,334	202	1,462	18,886	△2,529	16,356
セグメント利益	2,819	994	306	△0	221	4,341	△372	3,968

- (注) 1. セグメント利益の調整額 372百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能営業費用であり、配賦不能営業費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごと固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、11百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。